

神戸大学経営学部は、本学部が定める学位授与に関する方針および神戸大学が定める教育課程の編成及び実施に関する方針に基づき、以下の方針に則り教育課程を編成及び実施する。

学士（経営学）

1. 幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、本学のすべての学生に共通する学修の目標を達成するため、教養科目を開設する。
2. 深い学識と高度な専門技能を培い、本学のすべての学生に共通する学修の目標および各学部が定める学修の目標を達成するため、専門科目を開設する。
 - ・企業に代表される組織とそれを取り巻く社会や環境との相互依存関係の本質を理解できるような、豊かな一般教養と高い倫理性を身につけることができるよう、第1群科目（基礎論科目）、第2群科目（基本科目）、共通専門基礎科目、初年次セミナーを開設する。
 - ・経営に関する実際と問題を把握し、それを実践的かつ革新的に解決するための意思決定をおこなえる思考力と判断力をもつことができるような、経営学・会計学領域の基本および専門的知識を身につけることができるよう、第2群科目（基本科目）、第3群科目（応用・発展科目）を開設する。
 - ・経営に関する自分自身の考えを、国内だけではなく海外の人々にも適切に伝えることができる表現力およびコミュニケーション力を身につけることができるよう、グローバル科目群、研究指導を開設する。
3. 授業は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれか、又はこれらの併用により行う。
4. 成績評価は、筆記試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

学士（商学）

1. 幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、本学のすべての学生に共通する学修の目標を達成するため、教養科目を開設する。
2. 深い学識と高度な専門技能を培い、本学のすべての学生に共通する学修の目標および各学部が定める学修の目標を達成するため、専門科目を開設する。
 - ・企業に代表される組織とそれを取り巻く社会や環境との相互依存関係の本質を理解できるような、豊かな一般教養と高い倫理性を身につけることができるよう、第1群科目（基礎論科目）、第2群科目（基本科目）、共通専門基礎科目、初年次セミナーを開設する。

- ・経営に関する実際と問題を把握し、それを実践的かつ革新的に解決するための意思決定をおこなえる思考力と判断力をもつことができるような、商学領域の基本および専門的知識を身につけることができるよう、第2群科目（基本科目）、第3群科目（応用・発展科目）を開設する。
- ・経営に関する自分自身の考えを、国内だけではなく海外の人々にも適切に伝えることができる表現力およびコミュニケーション力を身につけることができるよう、グローバル科目群、研究指導を開設する。

3. 授業は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれか、又はこれらの併用により行う。

4. 成績評価は、筆記試験、レポート、参加度、発表内容等により、学修目標に即して多元的、包括的な方法で行う。

学位：学士（経営学）のカリキュラムマップ

		1年次				2年次				3年次				4年次				
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	
人間性	様々な場面において、状況を適切に把握し、主体的に判断する力	情報基礎		情報科学1	情報科学2													
						健康・スポーツ科学実習基礎	健康・スポーツ科学実習1	健康・スポーツ科学実習2										
	専門性や価値観を異にする人々と協働して課題解決にあたるチームワーク力							健康・スポーツ科学講義A・B										
		教養科目																
		初年次セミナー																
		専門科目（演習科目）																
創造性	他の学問分野の基本的なものの考え方を学び、自らの専門分野との違いを理解する力	教養科目																
	能動的に学び、新たな発想を生み出す力																	
国際性	複数の言語で異なる文化の人々と意思を通じ合うことができる力	外国語第I				第III外国語												
		Advanced English																
	文化、思想、価値観の多様性を受容し、地球的課題を理解する力	外国語第II初級				外国語第II中級		教養科目										
		教養科目																
専門性	企業に代表される組織とそれを取り巻く社会や環境との相互依存関係の本質を理解できるような、豊かな一般教養と高い倫理性	初年次セミナー																
		(共通専門基礎科目)																
		(第1群科目) 経営学基礎論、会計学基礎論、市場システム基礎論				(第2群科目) 経営管理、経営戦略、経営史、経営数学、経営統計、コーポレートファイナンス、簿記、財務会計、管理会計、マーケティング、金融システム、交通論												
	経営に関する実際と問題を把握し、それを実践的かつ革新的に解決するための意思決定をおこなえる思考力と判断力をもつことができるような、経営・会計学領域の基本および専門的知識	(第3群科目) (会計プロフェッショナル育成プログラム) 実践簿記1, 実践簿記2, 実践簿記3, 実践簿記4				(第3群科目) 経営科学の基礎 (経営データ科学特別学修プログラム) 経営データ分析				(第3群科目) 人的資源管理、工業経営、戦略マネジメント、公益事業経営、ゲーム理論、組織と情報、監査論、国際会計、税務会計、原価計算、社会環境会計、流通システム、マーケティング・マネジメント、顧客関係管理、金融機関、リスク・マネジメント、証券市場、国際交通、経営学特殊講義、会計学特殊講義、市場システム特殊講義、経営学入門演習、研究指導、卒業論文、経営データ分析								
経営に関する自分自身の考えを、国内だけではなく海外の人々にも適切に伝えることができる表現力およびコミュニケーション力									研究指導									
	(グローバル科目群) 外国書講読、外国文献講義、Introduction to Management, Introduction to Accounting, Introduction to Finance, Globalization and International Trade																	

